



↑親子で玉入れをして楽しむ子どもたち。

**会場いっぱいの笑い声と笑顔**

■榊原児童館/すくすく広場「ひなまつり会」

榊原児童館のすくすく広場「ひなまつり会」は3月5日、同館で開かれ、未就園児親子36組79人が参加しました。

このひなまつり会では、ひなまつりに関する紙芝居や同館職員による工夫された劇、親子ダンス、玉入れなどが行われました。

子どもたちは、ダンスや玉入れといった体を動かす遊びがお気に入り。特に親子ダンスでの親子が見詰め合う場面では、子どもの笑い声と笑顔で会場は溢れていました。

**AED寄付で市民の安心感強く**

■榊南ロータリークラブ/AED寄贈

榊南ロータリークラブ（大石捷次会長）から牧之原市に、自動体外式除細動機（AED）2台の寄付があり、3月2日、市内ホテルにおいて贈呈式がありました。

これは同クラブの奉仕プロジェクトの一環として寄付されたものです。

市では、平成26年ごろまでに、公共施設に50台の設置を計画し、この寄付で33台目となりました。今回寄付されたAEDは、榊原文化センターと海浜体育館に設置されます。



↑大石会長からAEDを手渡される西原市長。

**静岡の翼として発展を期待**

■フジドリームエアラインズ体験搭乗・懇談会

フジドリームエアラインズは3月24日、空港周辺団体対象の体験搭乗と懇談会を開きました。

これは、昨年7月の就航以来、静岡の翼として順調な滑り出しができ、今後も地域住民の理解と協力を得て、新規路線など、さらなる事業の拡大を図りたいという目的で行われたものです。

体験者からは「座席間がとて広くて乗り心地がいい」「静岡の翼として、全国に知れ渡るよう、地元としても協力していきたい」などの感想や意見が聞かれました。



↑懇談会でフライトアテンダントと意見交換をする参加者。



↑調印する植田署長（左）と西原市長。

**暴力団の不正受給は認めない**

■生活保護制度における暴力団排除に関する協定調印式

市は3月9日、生活保護制度における暴力団排除に関する協定を牧之原警察署と結びました。

これは、過去に暴力団員による生活保護費の不正受給などが全国的に大きな問題となったことを受け、暴力団と疑われる人の照会を警察署と円滑に行うものです。この協定により、警察署から必要な支援を受けられるようになります。

調印後、植田典弘牧之原警察署長は「暴力団に国民の税金を渡すことはできない。市と連携していく」と述べました。



↑朝礼で、徳田理事長の「生命だけは平等だ」という理念が伝えられました。

**世界一の地域医療を目指して**

■榊原総合病院の新たなスタート

榊原総合病院は3月1日、医療法人沖繩徳洲会（徳田虎雄理事長）を指定管理者として、新たなスタートを切りました。

午前8時30分から病院内講堂で行われた朝礼では、約150人の医師や看護師らを前に、茂庭将彦院長は「失ってきたものを取り戻すため、1歩1歩進んでいきたい。1人1人の意識の向上が収入になり、患者にとっても良い病院になる。新たな気持ちで取り組もう」と決意を述べました。

また、徳洲会の徳田虎雄理事長から「牧之原市と吉田町の医療と福祉が世界一になるよう努力しよう」とのメッセージも披露されました。

**新たな河川美化活動団体が誕生**

■リバーフレンドシップ同意調印式

リバーフレンドシップ庄内（枝村和秋代表）と市、県島田土木事務所は3月2日、地域住民の河川美化活動を支援する制度「リバーフレンドシップ」の同意書に調印しました。

今回の調印により、本市では25団体目。志太榊原地域で70団体となりました。

同グループは、勝間田川の竹橋から上流750mまでの右岸で、ごみの収集や除草作業、草花の植栽などを行います。市はごみ処理に協力し、県は活動に必要な用具などを支給し、支援します。



↑3者で締結したリバーフレンドシップ（中央は枝村代表）。



↑青木さんの絵を生かした紙芝居を読む羽生代表（右）。

**紙芝居で立派な生きざまを伝えたい**

■青木敏さんの紙芝居/かえでグループ

特別養護老人ホーム「うたしあ」などでお年寄りと交流活動を行っているボランティアグループ「かえでグループ」（羽生正子代表）がこのほど、2年前に101歳で亡くなった青木敏さん（静波）が生前に同所のデイサービスでの活動を描いた絵を生かして、紙芝居を作成しました。

「とても色使いがきれい。これを埋もれさせるのはもったいなかった」と羽生代表は語りました。

同グループは、2月から施設利用者に紙芝居を披露しています。



広報担当がどこにも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報室 ☎ (23) 0044 ✉ seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp